

パミールの美しい自然と遺跡

中央アジアの山国 タジキスタンの
パミールを歩く
2005～2013



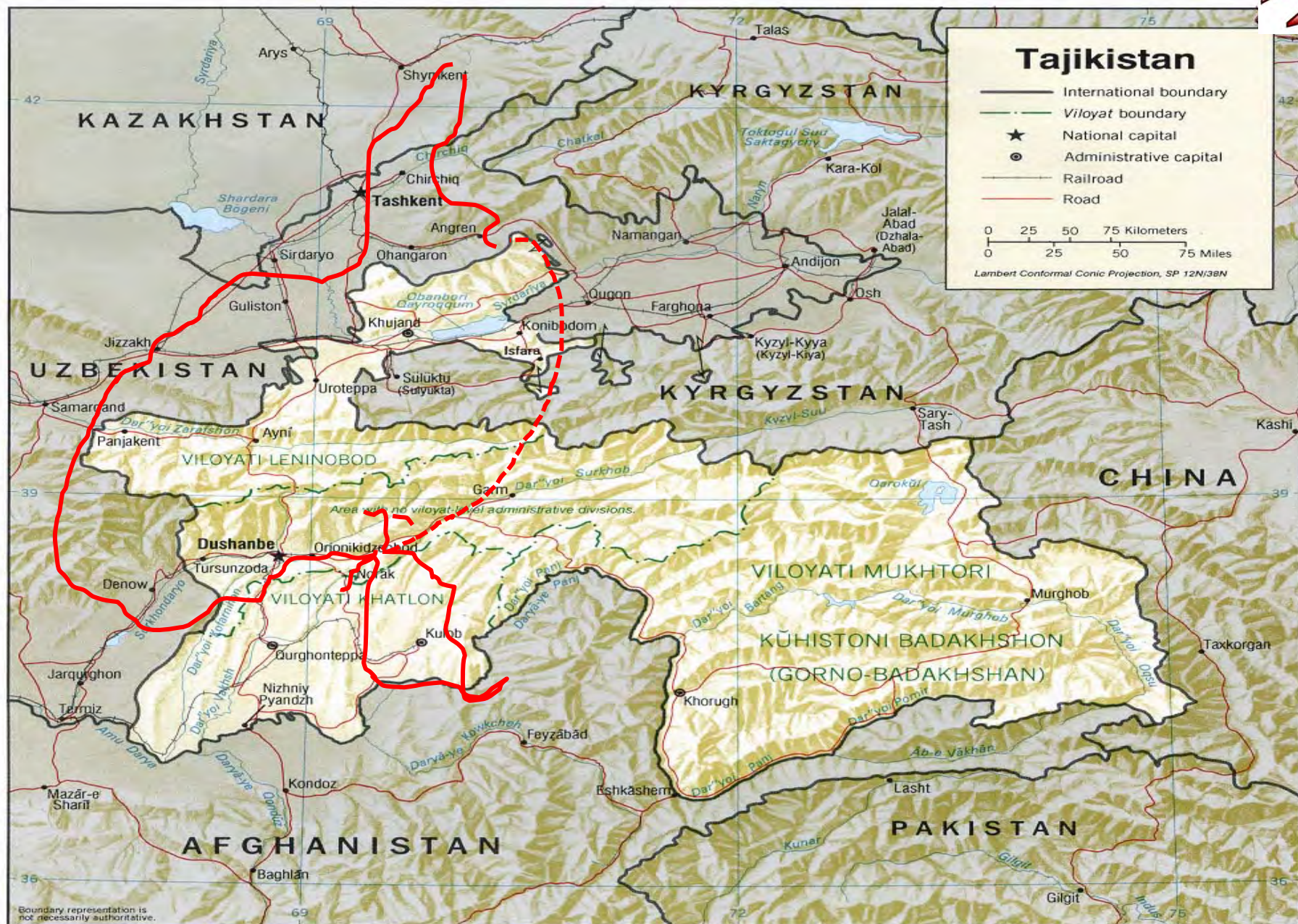




TAJIKISTAN







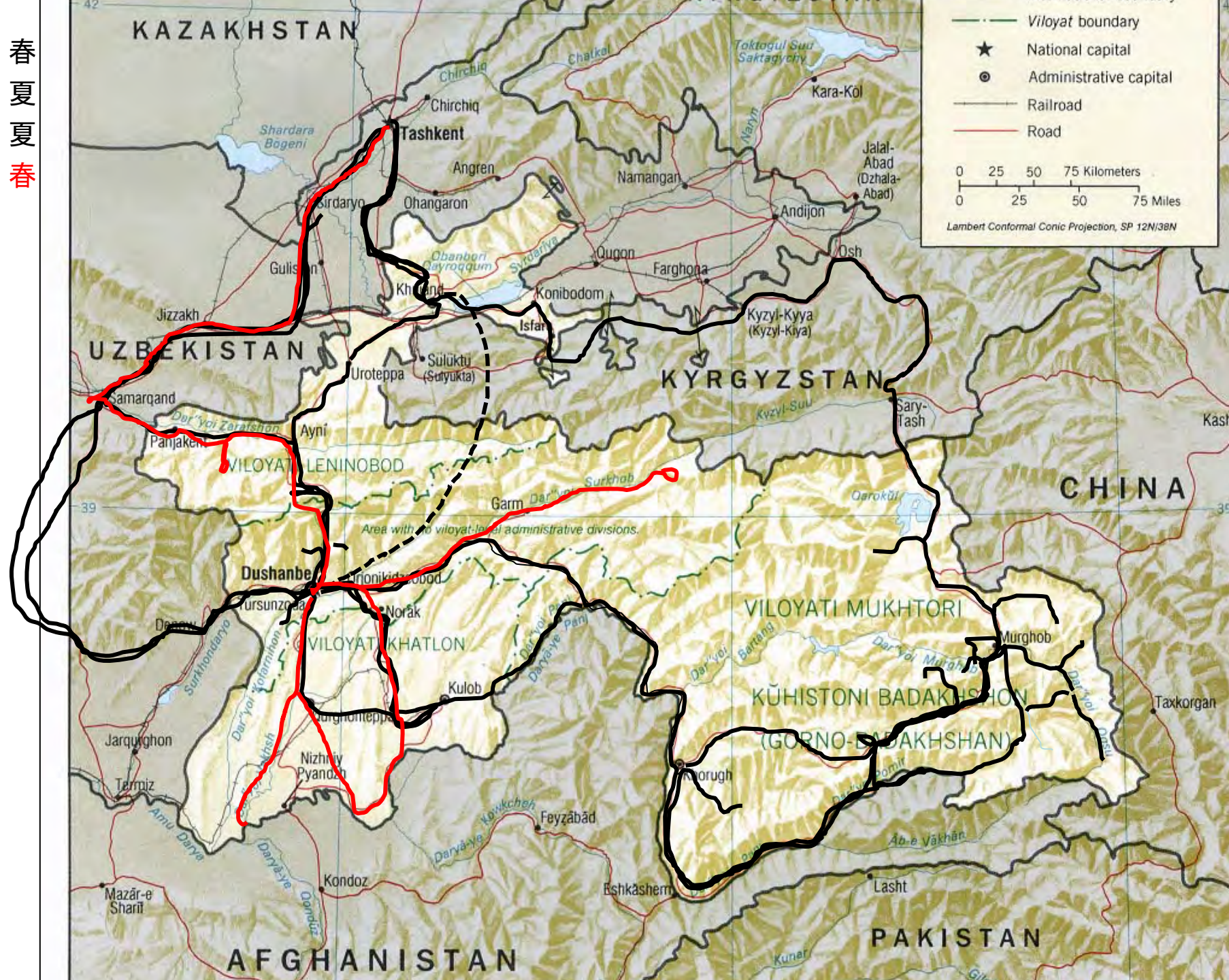
Boundary representation is not necessarily authoritative.

2005 夏

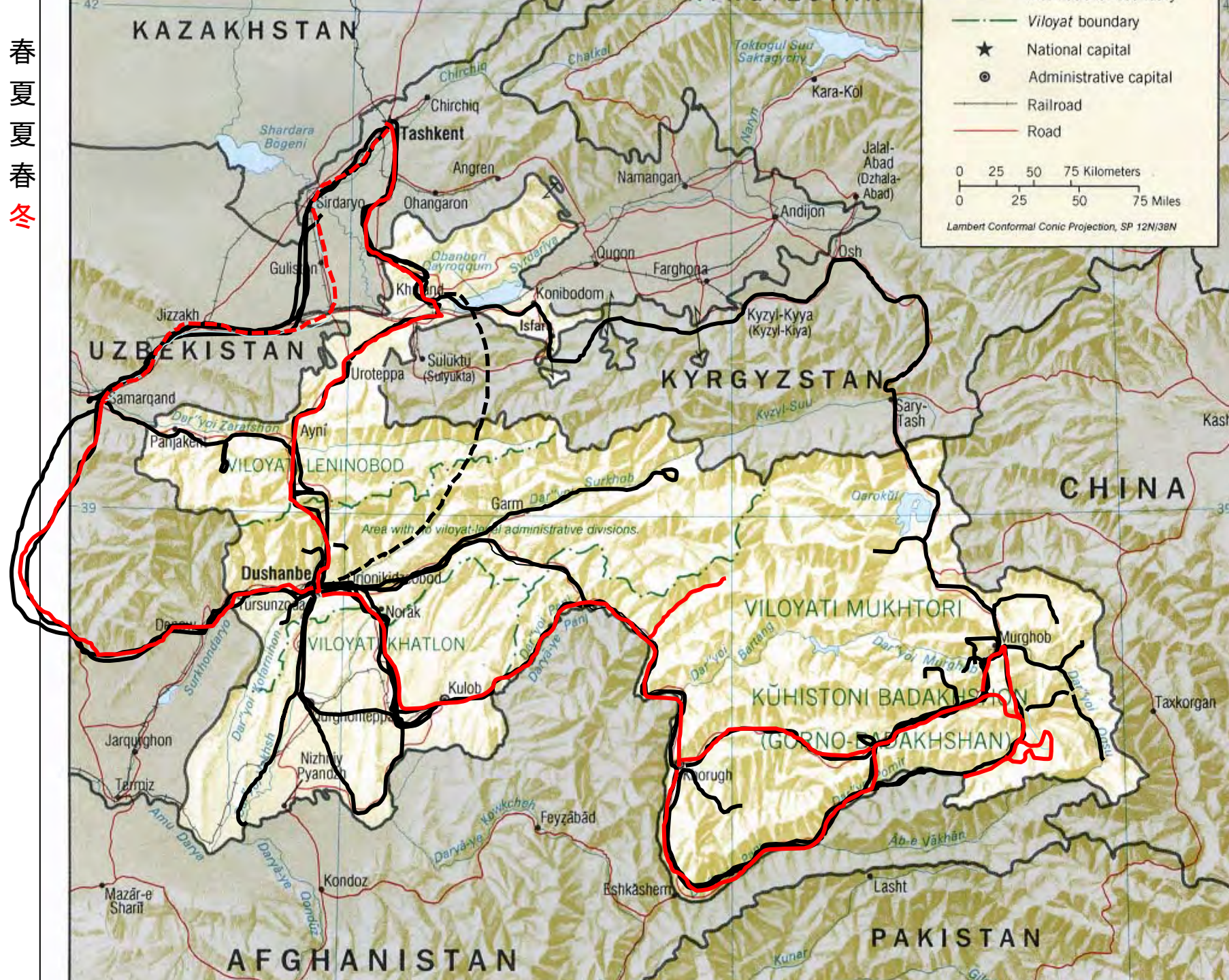
2005 春
2005 夏
2006 夏



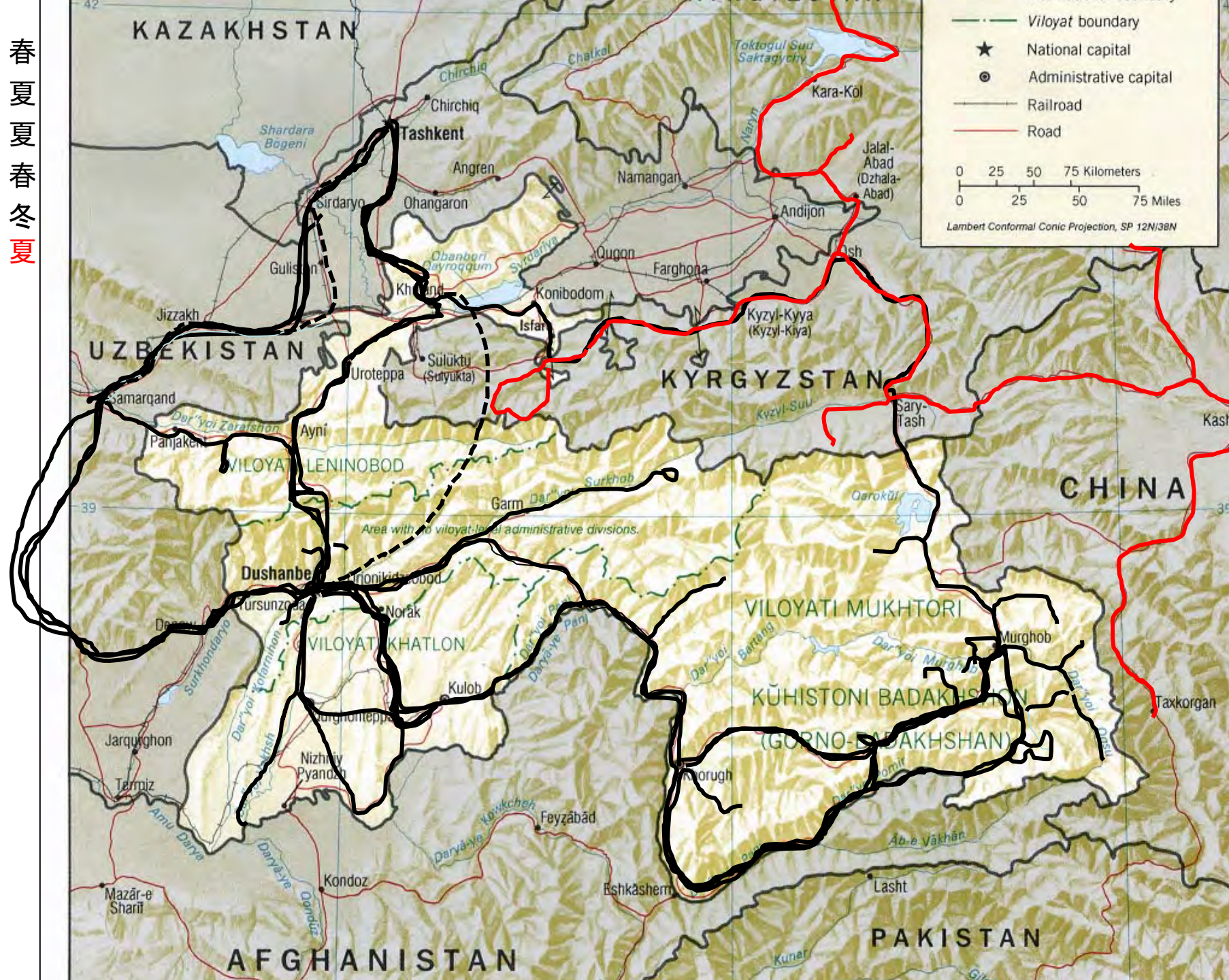
2005 春
2005 夏
2006 夏
2008 春



2005 春
2005 夏
2006 夏
2008 春
2008 冬



2005 春
2005 夏
2006 夏
2008 春
2008 冬
2012 夏



2005 春
2005 夏
2006 夏
2008 春
2008 冬
2012 夏
2013 夏

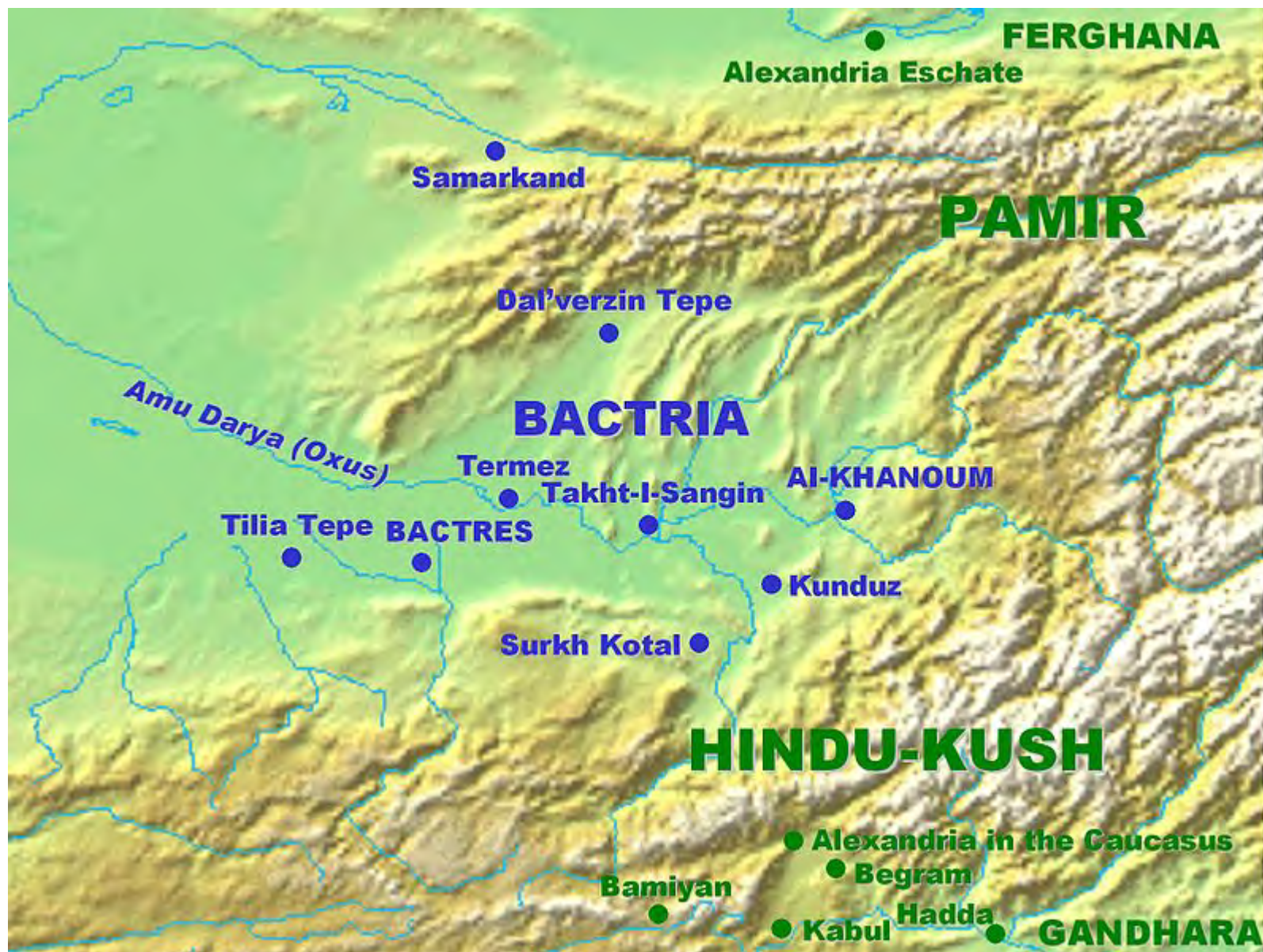


2005 春
2005 夏
2006 夏
2008 春
2008 冬
2012 夏
2013 夏



古代～中世の歴史年表年表

西暦	イベント	遺跡の種類
BC 549	アケメネス朝バクトリア地方を占領	拝火教
BC 514	ダレイオス大王がソグディアナ地方を攻略	
BC328	アレクサンドロス大王ソグディアナ、バクトリア地方を征服	グレコ・バクトリア様式
BC 250	バクトリア王国建設（セレウコス朝ディオドトスが独立）	
BC 174	バクトリア、西北インドに侵入	
BC 160	スキタイ系サカ族ソグディアナ征服、バクトリアへ侵入	岩絵か？ソーラーカレンダーか？
AD 50	バクトリアにクシャン朝興る	仏教遺跡
AD 751	タラスの戦い: アッバース朝が唐の高仙芝を破る	イスラム聖者廟など
AD 1224	チャガタイハン国が成立	
AD 1370	チムール朝 成立	
AD 1504	シャイバニ朝（ウズベク）成立（チムール朝を倒す）	
AD 1526	バーブルがムガル朝を創始	



タフティ・サンギン

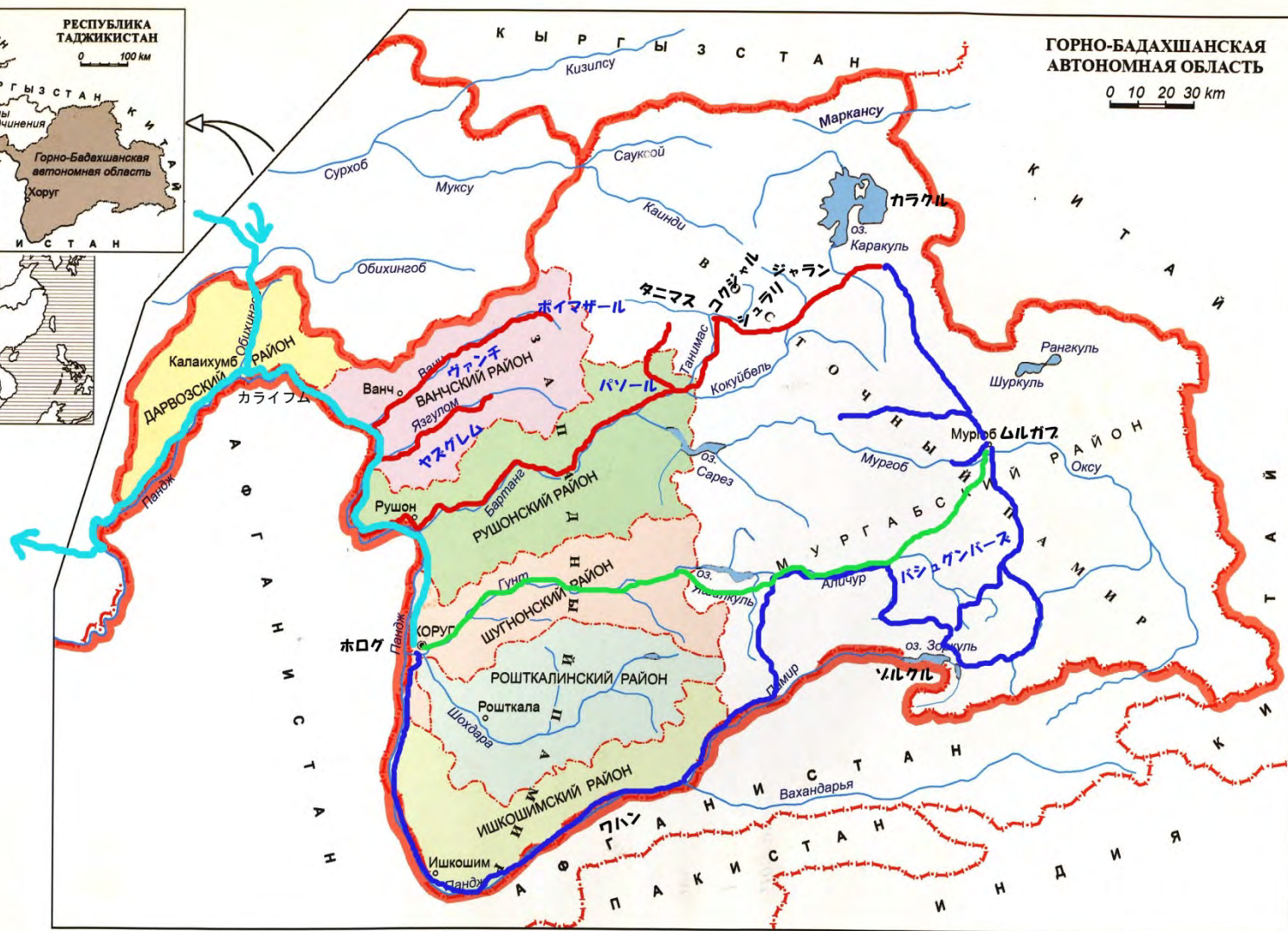




アレクサンドロス大王の末裔か









ワハンの主な遺跡

村名	区間距離・積算距離	遺跡名
イシュカシム	0km	
ナマンガット	15km, 15km	カーカーフォート
		Sha-i-Mardan Hazrati Ali廟
ダルシャイ	25km, 40km	砦址
ヤムチュン	30km, 70km	ザミール・イ・アタチシュ・パラスト城、対岸にハンドウート
ヴラング	7km, 77km	拝火教台、仏教僧院址、寺院、洞窟式僧坊
ゾング	22km, 99km	Abraham Kala,絹の城、古代中国の見張り塔、ゼンジバール城、岩絵
ランガール	5km, 104km	6000 の岩絵
ラトム	4km, 108km	ラトムフォート、寺院跡？

パミールの英文基礎文献

- G.N.カーゾン: パミール山と谷〔和訳あり。〕－地理に詳しい
- A. スタイン: Innermost Asia: 1915年にパミールを徹底的に踏査〔和訳あり、縮刷版〕
- O.オルフスン: Among the Unknown Pamirs 1896－1898年のデンマーク隊ワハン調査〔和訳無し〕
- エドワード・ルトヴェラゼ: 考古学が語るシルクロード史
加藤九祚 訳

ワハンの遺跡の特徴

- もともと北方遊牧民であるサカが紀元前から広く分布していたと言われている。
- BC3－AD6世紀ころまで城塞建設が続いたと思われる。(アイハヌム2011年)
- 7世紀頃中央アジアがイスラム化し時代、イランから拝火教徒がワハンへ逃げ込んだと思われる→ 拝火教式宗教遺跡
- バクトリア方面から仏教の影響も認められる→ ハンドワード、ヴラングの仏教遺跡
- ・ 現在はイスマイル派シア教徒が多い。



カーカー・フォート

カーカーはワハンの支配者
カーカーフォートの対岸の正面
はIstragh峠。

ワハンからチトラルへ抜ける峠
現在タジク兵が監視している。



ワハンの遺跡：カフィールの城跡

原住民はイラン系のワヒー族でもとは拝火教徒
民間伝承によれば

- 1) 18世紀末まではKafir〔異教徒〕がワハンを支配していたーアラブの侵入の影響を受けていなかった。300年以上もの間ワハンを支配していたという説もある
- 2) カーカーの出自不明。アレクサンダーの末裔か？アフガニスタンのヌーリスタンの住民と同系統と言われている
- 3) ハズレット・アリーが異教徒を追い出し、住民がシーア派に改宗した
4. イスラム教の伝播がこの地域ではかなり遅かった

ハズラット・アリ廟



城の役割

- キルギス族、シュグナン谷方面からの敵の攻撃から集落を守る
- 狼煙を上げ、城のネットワークを通じて危険を知らせた。

Zamir-i-atish-parast



- 通称ヤムチュン
フォート
- ビビファティマ洞窟
風呂



ヴラング

- パンジ川の右支流トレフ・ジラフ川が平地に流れ出す地点の段丘上にある。
- 1978－79年にM.A.Bubnovaが率いるタジキスタン考古学調査団が調査をしている。
- 加藤先生がこの発掘の成果を紹介している。
- 仏塔らしき構造物と僧院らしき洞窟があるが、仏教遺跡であるかどうかは断定できない。
- 拝火教神殿という説もある。
- 仏足跡ならぬ聖者の足跡にマザールを建てる風習があった。(シーア派)













美しいゾング村の城跡

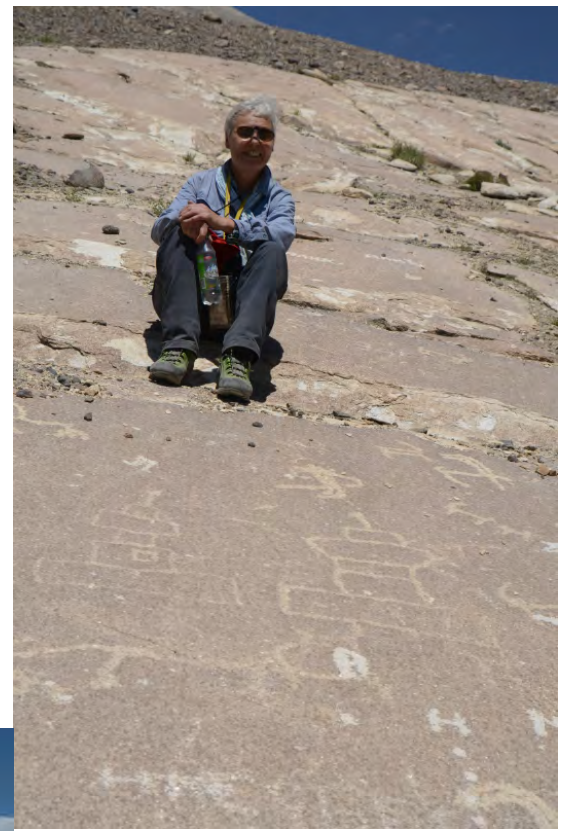






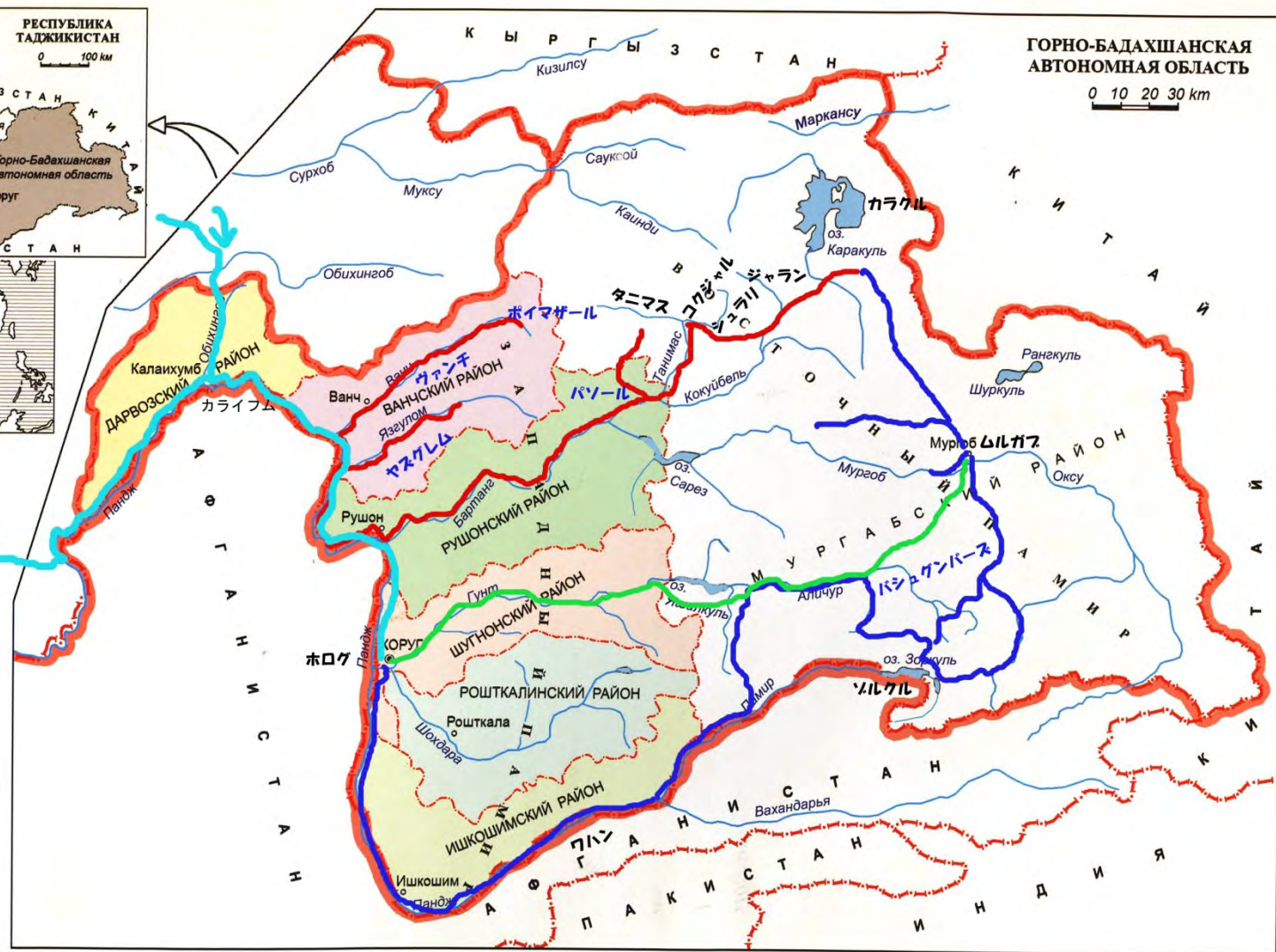
源泉かけ流し





TAJIKISTAN







パミール最大の集落
ムルガブ。
中国のトラックが隊列をなして
物資を運んでいた。



バザール・ダーラ 10世紀頃の銀鉱山遺跡。ソビエト時代も鉱山開発が行われ、最近ではカザフの民間会社が鉱山開発を手掛けている。





キジル・ラポートのゲンバーズ

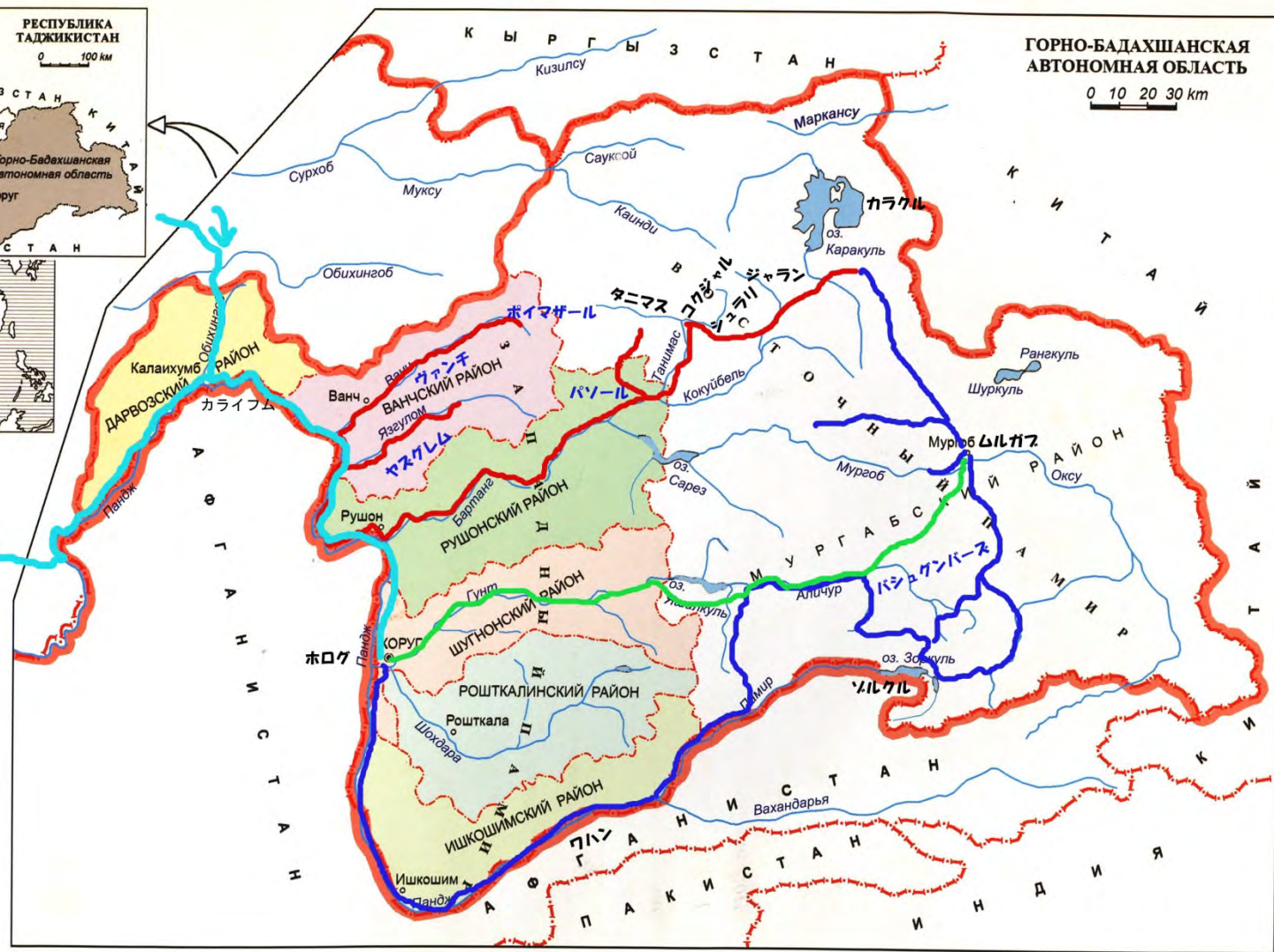


バシュ・ゲンバーズのキャラバンサライ



シャクティの洞窟絵画 UNESCO文化遺産登録















日本製のランクルでは
歯が立たないほど気象条件
路面など、環境は厳しい。





ご清聴ありがとうございました。

